

総務局

渉外部

渉外	37
広聴広報	39
シティセールス	43
親善交流	44
東京事務所	46

渉 外

1 市内米軍基地

(1) 市内米軍基地の概要

	主 な 施 設	面積(ha)	備 考
相模総合補給廠	物資の保管倉庫、修理工場	214.4	うち約17.9haは返還合意済
相模原住宅地区	住宅	59.3	
キャンプ座間	在日米陸軍司令部	172.6	座間市域を含む全体は234.6ha
	計	446.3	

※平成26年4月1日現在。

(2) 米軍基地の返還促進

市内の米軍基地は、いずれも市街地に位置しており、市民生活に様々な影響を及ぼし、計画的なまちづくりを進めるうえで大きな障害となっていることから、基地の全面返還を基本としつつ、特に必要な箇所については一部返還などの実現を、市内米軍基地返還促進等市民協議会とともに、国・米軍に要請してきた。

こうした中、日米両政府による在日米軍再編の最終報告において、相模総合補給廠の一部返還・共同使用が盛り込まれたことから、返還予定地等の市民利用が早期に図られるよう国へ求めた。これまでの取組により、一部返還（約17ヘクタール）については、平成20年6月に日米合同委員会において返還が合意され、また、共同使用（約35ヘクタール）については、平成23年2月に財務省所管の国有財産関東地方審議会において、当該区域を都市公園敷地として市へ貸し付けることが決定され、平成24年6月に日米合同委員会において合意された。

また、平成25年10月には、かねてから道路用地として返還を要請していた、相模総合補給廠北側外周部分の一部返還が、日米合同委員会において合意された。

さらに、基地に起因する諸問題の解決にも取り組み、以下について要請を行った。

- ア 相模総合補給廠のJR横浜線と並行した道路用地及び北側部分の返還
- イ キャンプ座間のゴルフ場外周道路、ゴルフ場部分、旧まがり坂及び旧新磯高校東側道路用地の返還等
- ウ 相模原住宅地区内緑道の共同使用及び東側外周部分道路用地・ウォーターフィルタープラント（浄水場）部分の返還
- エ 基地周辺的生活環境の保全
- オ 事件・事故の防止
- カ 市民に不安を与えるような訓練・演習等の禁止 など

2 航空機騒音問題に対する取り組み

(1) 米軍機による航空機騒音調査の実施等

ア 自動記録騒音計による調査

設置場所：鶴園小学校、上鶴間中学校、南消防署東林分署、相武台まちづくりセンター、勝坂コミュニティセンター

イ 市民からの苦情件数 平成25年度 計 1,297件

(2) 米軍機による飛行訓練中止等の要請

厚木基地から飛来する米空母艦載機による騒音は、昼夜を分かつたず、市民生活に大きな影響を及ぼしており、市民に耐えがたい苦痛を与えている。このため、県や厚木基地周辺各市と連携して、国や米軍に対し、騒音被害の軽減、解消を要請した。また、在日米軍再編において、厚木基地から平成26年までに空母艦載

機を移駐させることが日米両政府により合意されているが、平成 25 年 1 月に防衛省から移駐が可能となる時期は平成 29 年頃となる見込みとの説明があったことから、1 日も早い移駐の実現のために全力を尽くすこと、移駐が実現するまでの間の騒音軽減等について、国や米軍に対し要請した。

また、キャンプ座間におけるヘリコプターの騒音は、周辺住民に対し激しい騒音、振動による苦痛と、墜落の不安を与えていることから、国や米軍に対し、騒音被害の軽減、解消を図るよう要請した。

3 基地交付金

対象施設 相模総合補給廠、相模原住宅地区、キャンプ座間

平成 25 年度対象資産価格 278,060,762 千円

平成 25 年度交付額 1,200,693 千円(内訳：基地交付金 1,103,918 千円、調整交付金 96,775 千円)

4 基地関係協議会

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ア 神奈川県基地関係県市連絡協議会 | イ 厚木基地騒音対策協議会 |
| ウ 厚木基地関係市連絡会議 | エ 全国基地協議会及び防衛施設周辺整備全国協議会 |
| オ 相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 | カ 県央地区渉外連絡委員会 |

5 平和思想の普及啓発

昭和 59 年 12 月 3 日に行った「相模原市核兵器廃絶平和都市宣言」の精神に基づき、市と市民のパートナーシップの考え方に基づき設立された「市民平和のつどい」実行委員会とともに、「市民平和のつどい」を開催するなど平和思想の普及啓発のための事業を行った。

(1) 市民平和のつどいの開催

ア 平和・原爆ポスター展

- 【開催日・場所】8月2日～8月7日 シティプラザはしもと6階 多目的スペース
8月6日～8月30日 あじさい会館1階 ロビー
8月9日～8月15日 南区合同庁舎1階 ロビー

- 【内容】・平和市長会加盟都市5,000都市突破記念「原爆ポスター展」
・日本非核宣言自治体協議会「ミニミニ原爆展」
・平成24年度平和ポスターコンテスト入賞作品
・「広島平和大使」記録写真等

イ 「夏休み平和映画上映会／被爆体験者のお話」

- 【開催日・場所】8月24日～8月25日 市立図書館2階 大集会室

- 【内容】8月24日 映画「ヒロシマの証言」、「はだしのゲン2(アニメ版)」上映
8月25日 被爆体験者のお話、「夏服の少女達(アニメ版)」上映

ウ 「平和ポスターコンテスト」

市内在住・在学の小学生、中学生から平和や核兵器廃絶に関連した題材のポスターを募集

- 【応募数】小学校の部29作品、中学校の部88作品

- 【表彰者】小・中学校の部それぞれ最優秀賞1名、優秀賞5名、佳作は小学校の部9点、
中学校の部10点

- 【展示】最優秀、優秀、佳作作品合計31作品の展示

- 【開催日・場所】11月1日～11月4日 ミウイ橋本5階インナーガーデン

エ 「広島平和大使派遣」

「平和ポスターコンテスト」最優秀賞者2名とその保護者を広島市に派遣し、折り鶴の奉納と平和活

動の状況等を学んだ（後日、訪問結果を報告）。

【内 容】・「市民平和のつどい」等にて集められ、平和への願いが込められた“折り鶴”の奉納。
・広島平和記念資料館等にて核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを学び、後日「市民平和のつどい」にて学習結果を報告。

【派遣期間】10月11日～10月13日

【結果発表】11月2日 市民平和のつどいにて発表

オ 神田香織さん講談「はだしのゲンを語る」

【開催日・場所】11月2日 杜のホールはしもと ホール

【内 容】・「平和ポスターコンテスト」入賞者表彰式及び入選作品の展示

- ・「広島平和大使派遣」の事業報告（学習結果発表）
- ・神田香織さん講談「はだしのゲンを語る」

【参加者】約500人

カ 若年層への平和思想の普及啓発事業

「核兵器廃絶平和都市宣言」の趣旨に基づく平和思想の普及啓発を若年層へ図るとともに、併せて平成26年度と同宣言30周年記念事業の周知を図るため、平和学習用資料として、「2013市民平和のつどい」における「広島平和大使派遣事業報告」や被爆体験者証言のDVD及び広島市、長崎市が推奨する平和図書を市立全小中学校へ配布した。

(2) その他

ア 平和関連団体の活動に対する協賛（8団体）

イ 平和市長会議国内加盟都市会議への出席（8月5日～6日）

ウ 日本非核宣言自治体協議会総会への出席（5月28日～29日）

広 聴 広 報

1 広報活動

(1) 文書などによる広報

ア 広報さがみはら

市からのお知らせ・情報等を市民に周知するため、月2回(1日、15日)、タブロイド版を発行し、新聞折り込みや、公共施設・鉄道駅・商業施設等における配架、郵送により配布した。平成25年度は1回平均約24万3,000部発行。

イ 声の広報さがみはら

視覚障害者などを対象に月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。カセットテープ90分×2本1組・CD、年24回、1回平均136組発行。

ウ 点字版広報さがみはら

視覚障害者などを対象に月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。B5版約120ページ、年24回、1回平均40部発行。

エ ポケットデータさがみはら

市の概要を、統計数値を中心にコンパクトにまとめて発行した。年1回、10,000部発行。

(2) 視聴覚広報

ア テレビ広報

(ア) スポット番組/テレビ神奈川

番組名 「ありがとッ！」中の「マイコミュニティ（市町村だより）」

内 容 市のお知らせ、催し物などを紹介

放送日 第1・3金曜日、午後1時50分ごろ放送

(イ) データ放送/テレビ神奈川

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、テレビ神奈川のデータ放送の画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

(ウ) 文字放送/J：COM関東

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、J：COMのデータ放送の画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

イ ラジオ広報

エフエムさがみ

番組名 「さがみはらインフォメーション」

内 容 市の行事や催し物、市政案内などの地域に密着した行政情報を紹介

放送日 毎日3回、5分間

番組名 「市長と話そう」

内 容 エフエムさがみの企画制作により、市長が出演し、市政の動きや展望を話すトーク番組を放送した。

放送日 原則、毎月第2金曜日午後1時から30分間。翌日土曜日午前10時30分から再放送。

ウ インターネット広報

(ア) 市ホームページ

市民生活に関わる重要なお知らせを随時掲載したほか、市政情報を日々更新した。

市ホームページアクセス件数

(単位：件)

区分	平成24年度	平成25年度
トップページ	2,871,159	2,995,348
総ページ	30,492,213	30,929,783

(イ) 携帯用ホームページ

広報さがみはら掲載記事から抜粋したお知らせ・募集・イベント情報などのコンテンツを随時追加した。

携帯用ホームページアクセス件数

(単位：件)

区分	平成24年度	平成25年度
トップページ	130,555	53,935
総ページ	1,174,233	227,801

(ウ) さがみはらメールマガジン

パソコン・携帯端末に向けて広報紙からピックアップした情報を中心に電子メールを配信した。月2回配信。

さがみはらメールマガジン配信件数

(単位：件)

区分	平成24年度	平成25年度
パソコン	272, 801	284, 413
携帯	75, 337	63, 429

(エ) さがみはらチャンネル (YouTube 動画配信)

動画共有サイト「YouTube」を活用して、政令指定都市・相模原の魅力を紹介する番組や各種イベント等を動画で配信した。

- ・ 平成 25 年度末掲載動画数 (累計) 614 本
- ・ 平成 25 年度末動画再生回数 (累計) 212, 940 回

(3) その他

ア 報道機関への情報提供

報道機関に市政情報を提供することにより、市政に対する理解を深めてもらうとともに、市のPRを図った。市長記者会見は、12回開催、記事提供は随時行った。また、庁内から記事提供があったものについて取材し、ミニニュースとして報道機関に再提供した。平成 25 年度は、記事提供 781 件、結果 311 件が新聞紙上に掲載された。

イ 新聞広告

市政のPRを積極的に進めるため、日刊紙等の紙面に広告記事(市の催しの案内など)を掲載した。平成 25 年度は、全国紙や地方紙計 6 紙に 10 回掲載した。

ウ 市民カメラマン

公募による市民カメラマン 11 名に依頼し、市ホームページ「季節のたより」に掲載する写真の撮影のほか、市民の目で捉えた相模原を記録写真として撮影してもらった。

エ きょうのニュース

各種日刊紙の相模原市関連記事を切り抜き、特別職、関係部局に「きょうのニュース」として紙ベースで提供した。他職員には庁内イントラネットに記事概要を記載した一覧表を掲載し周知した。

2 広聴活動

(1) 市政を語る会

市民参加のまちづくりを推進するため、幅広く市民と市長が市政について積極的に意見交換等を行い、今後の市政に反映させるために実施した。平成 19 年度から市長が市民を訪問する形で実施しており、平成 25 年度は、学校訪問事業「未来の相模原について」(会場：夢の丘小学校)、施設訪問事業「【さくら】をテーマに魅力あるまちづくりを語る会」(会場：ユニコムプラザさがみはら)を実施した。

(2) 市政モニター

市政についての意見・提案などを計画的に収集し、施策の企画立案や行政効果の測定などに活用するため、昭和 44 年度から実施している。平成 18 年度から「e-モニター」(愛称)として、市民を対象に公募した。

平成 25 年度のモニターの内訳としては、インターネットコース 56 人、郵送コース 91 人の合計 147 人であった。

平成 25 年度は、①「ごみの減量化と資源化の取組について」、②「農業施策と地産地消の推進について」、③「相模原市職員の接遇について」をテーマにアンケートを実施した。

(3) 市政に関する世論調査

市民の意識や意向を的確に把握し、市政運営の有効な手段とするため実施した。

平成 25 年度は、専門の調査機関に委託し、郵送による配布・回収方式で行った。市民 3,000 人を対象に「定住意識」、「防災」、「日常の買い物」、「ユニバーサルデザイン」、「情報化施策の推進」、「子どもの人権・権利」、「市の公共施設」の 7 項目を調査し、回収率は、52.8%であった。

(4) わたしの提案

「心を大切にふれあいの市政」を推進するため、市民の意見や要望を、市政に反映させる「わたしの提案」制度を実施している。

平成 25 年度に寄せられた「わたしの提案」は 1,691 件、このうち、政策判断が必要なものとして取り扱った提案は、34 件であった。

(5) 陳情・要望等

各種団体や複数の市民からの陳情・要望等を「わたしの提案」同様に処理し、その結果を市政の運営に役立てた。平成 25 年度に寄せられた「陳情・要望等」は、532 件であった。

(6) 相模原市コールセンター

市民サービスの向上を図るため、平日はもとより、休日や夜間の閉庁時間に市民からの市政等に関する問い合わせや各種事業の申し込み受け付けを一元的に対応している。

コールセンターの概要

1	運営時間	午前 8 時から午後 9 時(年中無休)
2	電話番号等	電話 042-770-7777 ファクス 042-770-7766
3	サービスの範囲	主に市政等に関する問い合わせへの対応
4	運営方法	民間委託
5	FAQの整備	市民が 24 時間市政等の情報を得ることができる FAQ(よくある質問と回答)を整備

コールセンター利用実績

(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

コールセンター 利用件数	合計	電話	電子メール	ファクス
	86,068	84,945	885	238

シ テ ィ セ ー ル ス

1 シティセールスの推進

本市がめざすべきブランドイメージ「暮らしやすく発展を続ける都市」につながるメッセージの発信量の増大を通して、居住促進、企業誘致、観光振興等のバックアップを図った。

2 情報発信

(1) PR企画

本市のブランド構築のための「未来に向けて賑わい・発展する都市」「子どもたちの成長を育む都市」「コミュニティを通じて潤いが溢れる都市」の3つのメッセージの発信を行う事業を企画し実施した。

事業例

「はやぶさウィーク」イベント企画 他

(2) メディアリレーション

メディアを活用し、本市に関わる情報を広く全国に発信するため、取材誘致につながる取組を実施した。

ア ニュースレターの発行

社会のトレンドにあわせて本市の魅力がメディアを通して発信されるよう、メディア向けにニュースレターを発行した（年度内3回）。

テーマ例

「藤野地区の紹介」、「市内の冒険スポット」、「おもしろカンパニー」

イ ダイレクトコミュニケーション

テレビ番組、メディアの誘致を目指し、番組への情報提供・取材協力等を行った。

誘致実績

時期	放送局	番組名	内容
4月	テレビ東京	出沒！アド街ック天国	相模湖周辺の食・観光スポット等の紹介
8月	テレビ東京	モヤモヤさまぁ〜ず2	市内の見どころ・銀河連邦ヒーローの紹介

ウ 編集協力・タイアップ

雑誌社との編集協力により、本市の魅力を紹介した。（神奈川Walker）（6月・10月）

エ Web運用

Facebook、Twitter、LINE、シティセールスポータルサイトの運用を行った。

3 官民連携による情報発信

民間事業者と連携し情報発信した。

実績

時期	事業名	内容
6～7月	相模原市子どもデー	横浜 DeNA ベイスターズの協力による、市内在住・在学の親子約10,000人のプロ野球一軍公式戦への招待企画を実施した。
11月	手洗い教室	住友スリーエム(株)、日本マクドナルド(株)との連携により、市内小学校で手洗い教室を実施した。
2月	横浜線新型車両公開イベント	横浜線新型車両のお披露目イベントにおける沿線自治体PR企画に参加し、来場者に向けて市内製品の紹介、市内キャラクターのPR等を行った。

親 善 交 流

1 国際交流及び国際化に係る企画及び調整

外国人市民に対する情報提供の充実、さがみはら国際交流ラウンジにおける外国人市民に対する支援体制の充実、市民による国際交流・国際協力事業への支援などを行い、国際化の推進のための事業を行った。

(1) さがみはら国際交流ラウンジ

ア 利用状況(平成25年度開館日数 306日) 19,158人(うち外国人 5,767人)

イ 外国人との交流及び相互理解を図るため、各種イベントを開催した。

主な事業

名 称		実施日	参加者数
さがみはら国際交流フェスティバル2013		10月13日	約4,100人
ハローインターナショナルサロン「世界の料理教室」		6月2日	23人
		12月2日	20人
外国語養成講座	中国語講座(全4回)	9月1日～9月22日	延べ40人
	ポルトガル語講座(全4回)	1月12日～2月2日	延べ90人
登録団体交流会		5月25日	15人
		2月22日	14人
新ボランティア交流会		6月16日	10人
		9月15日	8人
		12月15日	8人
お茶会(10回)		毎月第三日曜日	403人
防災バスツアー		6月2日	52人
防災研修会		7月27日	9人
		2月1日	16人

(2) 日本語ボランティア養成講座の開催

外国人市民に日本語を教える指導者(日本語ボランティア)を養成するための講座を実施した。

ア 日 時 9月5日～11月14日(計10回実施)

イ 受講者数 延べ369人

2 国際交流基金

市民による幅広い国際交流活動を支援するため、市の積立金のほか市民、企業、団体等の寄付金などを原資として積み立てを行い、運用益を活用して国際交流・協力などの国際化事業を推進した。

ア 平成25年度末基金高 241,274千円

イ 平成25年度寄附件数及び金額 1件 100千円

ウ 平成25年度運用益 1,167千円

3 外国都市との交流

友好都市である中国・江蘇省無錫市(昭和60年10月6日友好都市締結)、カナダ・オンタリオ州トロント市(旧スカボロー市 平成3年5月31日に友好都市提携)、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州トレイル市(平

成 18 年 3 月 29 日友好都市継続の確認書署名)と教育、経済など幅広い分野において交流を行った。

(1) 友好都市・無錫市との交流

ア 相模原市から無錫市への訪問団(2 団 : 35 人)

名 称	期 間	人数
少年海外スポーツ交流 (ソフトテニス)	8 月 12 日～15 日	27
相模原市市議会訪中団	10 月 21 日～26 日	8

イ 無錫市から相模原市への訪問団(3 団 : 13 人)

名 称	期 間	人数
無錫市友好交流団	4 月 17 日～18 日	7
行政研修生	11 月 15 日	3
	2 月 12 日～28 日	3

(2) 友好都市・トロント市との交流

ア 相模原市からトロント市への訪問団(1 団 : 5 人)

名 称	期 間	人数
相模原市友好訪加団	11 月 5 日～11 日	5

イ トロント市から相模原市への訪問団(1 団 : 2 人)

名 称	期 間	人数
トロント市友好交流団	6 月 25 日～27 日	2

(3) 友好都市の紹介

友好都市をより多くの方に知っていただくため、「相模原市民桜まつり」で紹介パネルの展示及び物産の販売を行った。

4 銀河連邦

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設が縁で4市2町(秋田県能代市・岩手県大船渡市・神奈川県相模原市・長野県佐久市・鹿児島県肝付町・北海道大樹町)が、ユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、共和国間相互で経済、教育、スポーツ、福祉等、多様な交流を通じ、友好の絆を深めた。

サガミハラ共和国の主な事業

事 業 名	実 施 日	場 所	参加者数(人)
第 40 回相模原市民桜まつり 銀河連邦物産展	4 月 6 日～7 日	サガミハラ共和国 市体育館駐車場	約 400,000 (*)
「はやぶさの日」記念 「相模原はやぶさウィーク」イベント	6 月 9 日～16 日	サガミハラ共和国 ポーノ相模大野ほか	約 105,000
銀河カップ少年サッカー大会派遣	7 月 13 日～15 日	サク共和国	18
「JAXA 相模原キャンパス特別公開」 銀河連邦物産展	7 月 26 日～27 日	サガミハラ共和国 JAXA 相模原キャンパス	約 14,000
子ども留学交流事業	8 月 3 日～5 日	タイキ共和国	13
大船渡ポートサイドマラソン大会派遣	7 月 27 日～28 日	サンリクオオフナト共和国	3
障害者交流事業(りんご狩り)	11 月 9 日	サク共和国	84
うちのうら銀河マラソン大会派遣	11 月 23 日～25 日	ウチノウラキモツキ共和国	3
銀河連邦 星の町スピードスケート親 善大会派遣	1 月 3 日	サク共和国	17
横浜線新車両公開イベント、銀河連 邦・JAXA 相模原キャンパス紹介展	2 月 2 日	小机駅、町田駅	約 5,000

(※)についてはまつり全体の参加者

東京事務所

1 所在地と設置日

東京都千代田区平河町2丁目4番1号 日本都市センター会館12階（昭和63年4月1日設置）

2 中央省庁その他諸機関との連絡調整

本市行政の政策形成や施策の円滑な推進を図るため、中央各省庁その他機関への陳情・要望活動の支援等を行った。

要望活動件数

(単位:件)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
要望活動	22	29	32

3 市政に関連のある情報、資料の収集及び調査

本市行政に必要な情報の収集、諸会議への出席、担当部署への情報提供等を行った。

平成25年度 担当課への情報提供件数

(単位:件)

関係省庁	件数	関係省庁	件数
総務省関係	381	文部科学省関係	82
厚生労働省関係	132	環境省関係	113
経済産業省関係	158	その他	192
国土交通省関係	113	合計	1,258
農林水産省関係	87		

・平成25年度 資料収集等のための会議出席件数 143件

4 本市施策の紹介、宣伝等広報事業の推進

本市における施策及び施設の紹介、イベントのPR等を行った。

・平成25年度 広報紙等配布件数 延べ3,408件(国会議員、各東京事務所、省庁関係者)